

ルミノメーターだけでここまでできる！

発光を利用したCell based Assay

日時：平成29年9月26日（火） 16:00～17:00

会場：分子・構造解析施設セミナー室（共同利用棟2階）

ルミノメーター（Luminometer）は、発光法により試料中の発光量を測定する機器です。プロメガではルシフェラーゼの発光反応を利用した様々な発光アッセイを開発し、現在では50以上の多様なアプリケーションが可能です。本セミナーでは、ルミノメーターを活用した、特に細胞ベースのレポーターアッセイからタンパク質間相互作用アッセイ、各種毒性試験のアッセイシステムについて概論します。細胞の研究に興味がある方は是非ご参加ください。

* 分子・構造解析施設に設置されているプレートリーダーはルミノメーター機能を搭載しています。

〔講演内容〕

- ◆ルミノメーターとは？
- ◆発光の基礎（蛍光・吸光との違い）
- ◆ルミノメーターを使用した解析事例

細胞生存性・毒性アッセイ

細胞生存性アッセイ
細胞障害性アッセイ
アポトーシス検出
酸化ストレス検出
エネルギー代謝アッセイ

Biologics関連アッセイ

ADCCアッセイ

In vitro酵素アッセイ

キナーゼ
ホスファターゼ
ATPase

レポーターアッセイ

NanoLuc®
ホタルルシフェラーゼ
タンパク質相互作用解析

シグナルパスウェイ解析

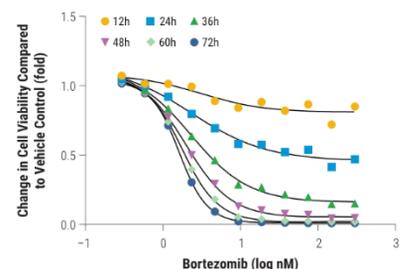
リアルタイムcAMP, cGMP検出

細胞内酵素アッセイ

エピジェネティクス関連酵素 (HDAC)
薬剤代謝酵素 (CYP450)

バクテリア検出

抗菌剤スクリーニング
食品・環境検査



ルミノメーターでの測定例

問合せ先：(参加申込みは不要です)

担当：西尾 和之、平野 哲史、田渕 圭章

内線：7176

電子メール：nishio@cts.u-toyama.ac.jp (西尾)

thirano@cts.u-toyama.ac.jp (平野)

